

**業務用 4K ディスプレイ「DP-V1830」向けファームウェアを提供
放送局や映像制作現場で効率的に 4K/HDR 映像確認が可能**

キヤノンは、18型業務用 4K ディスプレイ「DP-V1830」（2022年2月発売）向けに、無償ファームウェアおよび有償アップグレードの提供を2022年7月上旬に開始します。新たな機能の追加・拡充が可能で、効率的な 4K/HDR 映像確認を実現します。



DP-V1830（左：前面／右：背面）

キヤノンの業務用 4K ディスプレイ「DP-V1830」は、黒表現・広色域・広視野角性能を強化させ、各種 HDR 規格基準^{※1}を満たした業務用 18 型 4K/HDR ディスプレイです。今回のファームウェアおよびアップグレードでは、映像信号確認用の波形モニターや色度図表示などの機能拡充のほか、複数映像のマルチ画面表示や出力信号のスイッチアウト機能等を追加します。「DP-V1830」が有する 4K 高画質性能に加え、映像確認の利便性を高める機能を強化することで、中継車・副調整室等の放送の現場や、映画・ドラマ等の映像制作において、さらなる映像品質向上と作業効率改善に貢献します。

■ ディスプレイ 1 台で視覚的かつ効率的な信号・映像確認が可能（無償ファームウェア）

映像の YRGB 信号レベルを波形モニター上に同時表示する「パレード表示」や、映像の全画素の色情報を色度図上に表示する「色度図表示」の追加により、映像信号レベルのバランスや映像全体が想定色域範囲内にあるかを視覚的に一目で確認可能になります。また、SDI 端子と HDMI 端子からの映像を同時表示できる「SDI/HDMI 混在表示^{※2}」、2 画面/4 画面表示時^{※2}の各画面の「個別画質設定」、波形モニターや色度図などを映像上に重ねずに表示可能な「マルチ情報表示」等の機能を追加します。これらの機能を活用することで、個別の信号変換器や別ディスプレイ等の機材を削減でき、コンパクトな撮影体制で効率的な映像制作が可能になります。

■ 任意の入力映像を選択・出力できるスイッチアウト機能（有償アップグレード）

ディスプレイ本体背面に搭載の機能拡張用「MULTIFUNC.SDI OUT」端子を有効化しスイッチアウト機能を追加します。これにより、SDI 入力端子からの 4K/60P を含む映像（最大 4 映像）のうち、任意の映像を本端子から出力可能になるため、副調整室や中継車などで個別のスイッチャーを使用することなく計測器や別ディスプレイに映像を出力することができます。

製品名	提供開始時期
DP-V1830 有償アップグレードライセンス	2022年7月上旬

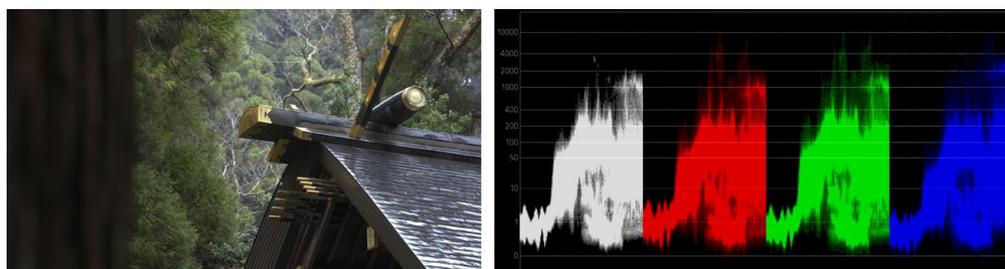
※1 「EBU TECH3320 USER REQUIREMENTS FOR VIDEO MONITORS IN TELEVISION PRODUCTION Version4.1」および「Dolby Vision Certified Mastering Facilities Colorgrading Systems and Monitors V1.4」に基づき当社試験条件で測定。

※2 入力映像の解像度やフレームレート、伝送方式などによる表示制約あり。

<無償ファームウェアの主な特長>

1. 波形モニターでの「パレード表示」機能の追加

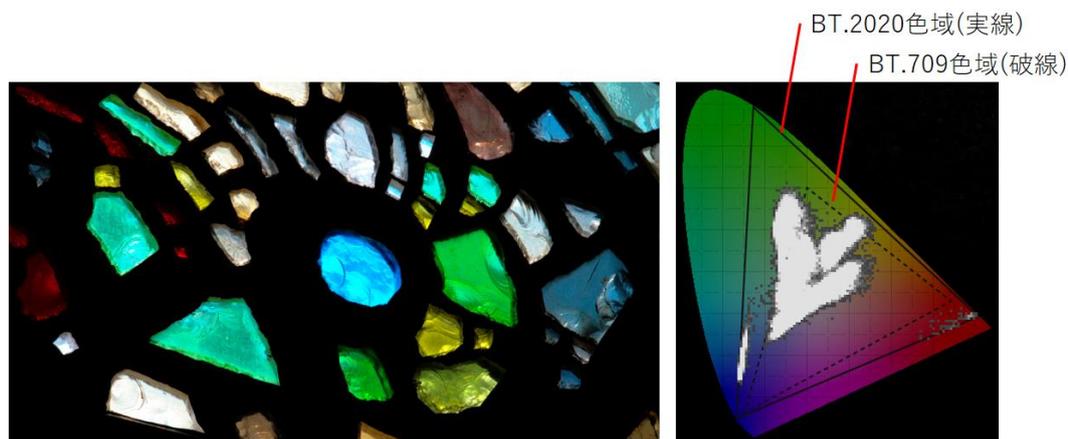
- ・映像のYRGB信号レベルを波形モニター上に同時表示する「パレード表示」を追加。現行機種ではY/Cb/Cr/R/G/Bのいずれか1信号のみの表示に対し、Y/R/G/Bの信号を同時に比較表示できるため、映像信号レベルのバランスを視覚的かつ効率的に確認可能。
- ・撮影された映像を見ながら、無彩色（白/黒）の信号レベルを確認できるため、カメラの撮影設定等の作業時間を短縮可能。
- ・専用の波形モニターを用意する必要がなくなり、機材数を減らしたコンパクトな撮影体制で映像制作が可能。



波形モニター「パレード表示（右）」イメージ

2. HDR モニタリングアシスト機能の拡張

- ・映像の全画素の色情報を色度図上に表示する「色度図表示」を追加。指定したピクセル位置の色度図表示に加え、本機能により一目で全画素の色情報の確認が可能。映像全体が想定色域範囲内にあるかを視覚的に確認可能。



映像（左）の全画素の色情報を色度図（右）上に表示（イメージ）

- ・キャノンの既存の業務用 4K ディスプレイで好評を得ている「フレーム輝度モニター」による最大輝度/平均輝度の遷移表示や、「ヒストグラム」による輝度の度数分布の確認が可能。
- ・波形モニターや色度図などの各種信号情報を映像上に重ねずに表示可能な「マルチ情報表示」を追加。個別の信号変換器や別ディスプレイ等の機材を削減でき、ディスプレイ 1 台で映像と信号情報の効率的な同時確認が可能。



マルチ情報表示（イメージ）

3. マルチ画面表示機能の追加

- SDI 端子と HDMI 端子からの映像を同時表示できる「SDI/HDMI 混在表示」を追加。
- キヤノンの既存の業務用 4K ディスプレイで好評を得ている 2 画面／4 画面表示時の各画面の「個別画質設定」を追加。ガンマや色域など異なる信号フォーマットを用いたカメラでも最大 4 台まで同時表示が可能。
- 「User LUT 比較表示」を 4 画面表示時にも拡張。
- これらの機能により、入力信号や画質設定時の画面切り替えが不要になり、作業時間の削減とともに、信号変換器や別ディスプレイ等の機材削減につながるため、少ない機材でコンパクトに映像制作が可能。



「SDI/HDMI 混在表示（右）」イメージ

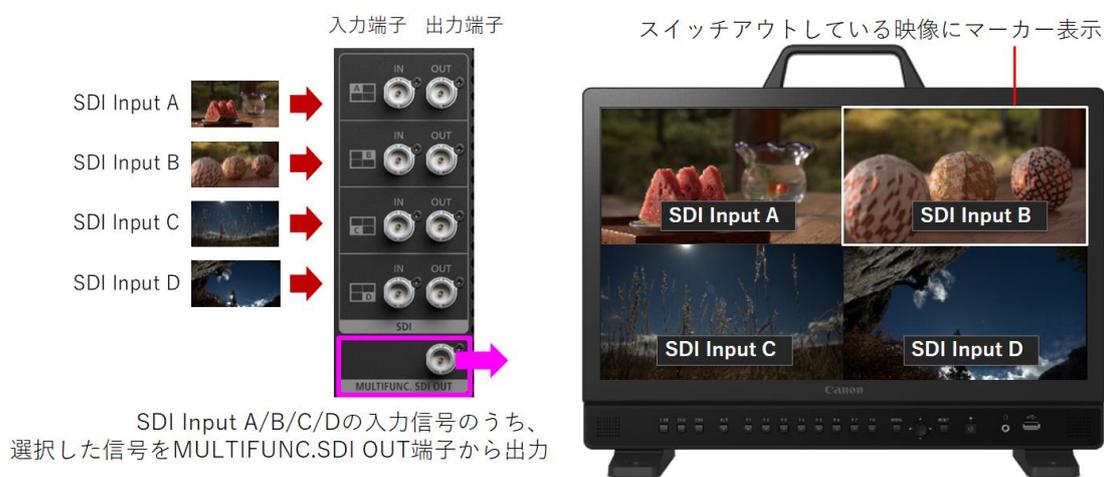
4. その他

- PC やタブレット端末などを用いてディスプレイ本体を制御する有線 LAN 接続による「リモート制御」を追加。離れた場所からでも簡単に設定変更や確認が可能になり、利便性が向上。
- 有線 LAN 接続した複数台のディスプレイを同期設定する「ディスプレイ設定連動」を追加。ディスプレイ複数台に対し、同時に画質設定やチャンネル切り替えが可能になり、作業効率が向上。
- 有線 LAN 経由でディスプレイ間の設定のエクスポートやインポートが可能。
- 入力対応信号に、SD-SDI 信号を追加。

<有償アップグレードの主な特長>

■ 任意の入力映像を選択・出力できるスイッチアウト機能

- ・ディスプレイ本体背面に搭載の機能拡張用「MULTI FUNC.SDI OUT」端子を有効化することで、スイッチアウト機能を追加。SDI入力端子からの4K/60Pを含む映像（最大4映像）のうち、任意の映像を本端子から出力が可能
- ・スイッチアウト機能を用いて出力する映像は、ディスプレイ本体のファンクションボタンや有線LAN接続したPC/タブレット端末などのWebブラウザで選択することが可能。
- ・スイッチアウト機能を用いて出力する映像に対し、任意の色（白/赤/緑/オフから選択）でマーカー（映像枠）を表示することが可能。
- ・副調整室や中継車等で、個別のスイッチャーを使用することなく、入力信号を簡易的に切り替えて計測器や別ディスプレイに出力したい場合に好適。



MULTI FUNC.SDI OUT 端子と映像出力イメージ

<ご参考>

2022年4月23日（土）から27日（水）まで米国ラスベガスで開催される放送・映像制作機器の展示会「NAB Show」のキャノンブースにおいて、今回のファームウェアおよびアップグレードを適用したディスプレイのデモを実施する予定です。